

令和7年度 第4回 教育委員会

日時 令和7年7月10日(木) 15:30～16:30

場所 綾町公民館・大会議室

出席者	教育委員	柿田 美香	教育長	高松 公俊
	教育委員	横山 慎子	教育総務課長	野村 敏幸
	教育委員	中神 克寿	社会教育課長	佐藤 光久
	教育委員	山口 昇	教育総務課主幹	馬場 勇次
			社会教育課主幹	麻生 昌秀
			教育総務課係長	森本 亜紀
			教育相談員	南正覚 雅士
傍聴者	0名		SSW	松尾 容子
			議事録	古高 望

○開会の挨拶

○教育長挨拶

(教育長)

中学校支援校訪問、操法大会について触れ挨拶を行った。

○教育長事務報告

(教育総務課 係長)

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

(社会教育課 主幹)

教育総務課と同様、行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

○協議事項、報告等

(教育総務課 課長)

6月議会についての報告。

議会での一般質問において、外山議員より「小学校の給食時間」「義務教育保護者負担軽減」、橋本議員より「子ども誰でも通園制度」、興梠議員より「教育長の基本姿勢」について質問があったことや、質問に対する回答について資料に沿って説明を行った。

(社会教育課 課長)

教育総務課と同様、6月議会についての報告。

外山議員より「町民スポーツ大会」、松浦議員より「自治公民館制度」について質問があったこと、質問に対する回答について資料に沿って説明を行った。

○その他

(教育総務課 教育相談員)

小・中学校の児童生徒等の状況について説明を行った。

(教育委員)

不登校は、兄弟間で連鎖しやすいのか。

(教育総務課 教育相談員)

下の子は上の子が学校に行かない姿を見ているため、どうして自分だけ学校に行かないといけないのかと疑問を持つため、兄弟間で連鎖してしまうこともある。

(教育委員)

家庭の状況や子供達が持つ疎外感、学習の状況など、要因がそれぞれ違うなかで、学校、教育委員会の対応は正しいと感じる。完全に引きこもっている子がおらず、何らかのつながりを持っていることは良い。(質問) フリースクールに行っている子は出席扱いなのか。

(教育総務課 教育相談員)

出席扱いになる。

(教育総務課 係長)

学校支援訪問(中学校)について。

参加して下さった教育委員の方からなにかご感想、ご意見等あればいただきたい。

(教育委員)

先生の教え方も色々あると思った。特に国語では飢饉やお米の話など現代の話とマッチしていて子供達もわかりやすいのではないかと感じた。また、冷房もついており学習環境もよい。しかし、中学生の机とすると少し狭いのではないかと感じた。一度に知識を得るのに、タブレットや教科書を使用が一つずつしか開けないというのは少し不便なのではないか。

(教育総務課 主幹)

夏休み明けからのタブレット更新でさらに大きくなると想定される。そのため、取り外し可能で机のワイドが広がるものを設置検討中。

(教育委員)

肥満児率が高いことが少し心配。だが、子供の健康に関して保健室が行っているアンケート等が、綾中学校の問題点と内容は連動していると聞いて安心した。

(教育委員)

ICT 機器を積極的に使っていかうとする教諭の姿勢が多く見られた。ICT 機器の利用に効果があるかどうかはこれからわかっていくかと思うが、その姿勢は良いと思う。一方で、先生の説明が長く生徒が飽き飽きしている様子が散見されたため、そこは改善していく必要があると感じた。また、「めあて」と「学習課題」の意味を理解していないと感じた。タブレットを使い、自分の考えを悩みながらまとめている姿が見られたのはよかった。

(教育総務課 係長)

九州地区市町村教育委員研修大会についての周知。

○閉会